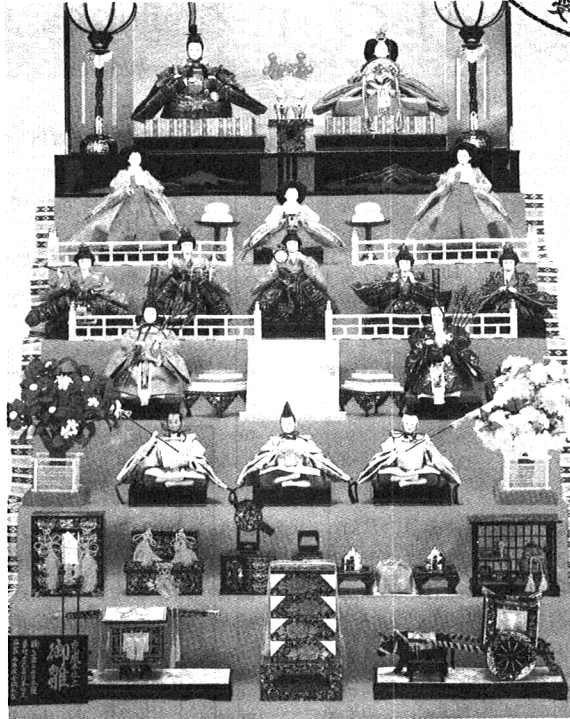


歳
時
記



弥 生 (3月)

3日は雛祭り。雛人形を飾り、菱餅、白酒、桃の花を供えて祝う女の子の行事である。雛人形は、内裏雛(向って左側に男雛、右に女雛を飾る)、三人官女、五人囃子、隨身(二人)、衛士(三人)を十五揃えて飾るのが標準である。

21日は春分の日。春の彼岸の中日にあたり、昼夜の時間がほぼ同じである。この日は、自然をたたえ、生物をいつくしむ日とされ、国民の祝日になっている。

中国盛唐の詩人、孟浩然(689~740)の五言絶句の詩に「春暁」がある。

春眠暁を覚えず、処々に啼鳥を聞く

夜来風雨の声、花落つること知りぬ多少

この詩のように春の夜の快い眠りは暁になっても容易に目が覚めない。

やはり、中国の蘇軾(1036~1101)の詩の一節に、「春宵一刻值千金」とあるように、花は香り、月は朧な春の夜は、えも言われぬ興味があって、何者にもかえがたい心地がする。

また、清少納言の「枕草子」にも「春は曙、やうやうしろくなり行く山際少し明かりて云々」とあり、滝廉太郎の歌にも「春のうららの隅田川云々」とある。

このように、春は歌や物語のテーマに事欠かない。四季の中でも、特に素晴らしい季節なのであろうか。

3月のおもな行事

- 7日 統計調査員問題研究会(東京都)
- 7日 県民経済計算研究会(東京都)
- 7~8日 オープンプログラマ研修会(常陸太田市)
- 2日 市町村民所得推計検討会(水戸市)
- 14日 社会生活指標研究会(東京都)
- 15日 国調調査方法研究会(東京都)
- 22日 産業連関表全国連絡会議(東京都)

茨城県
行政資料

わ
い
じ
き